

市内路線バスが減便されます

公共交通の一翼を担う路線バス業界では、深刻な運転手不足に直面しています。路線バス運転手の労働環境を守り、運行の安全性を確保するため、バス事業者からの申し出により、令和6年4月1日から減便されることとなりました。



減便の詳細は
市ホームページから

どうして
減便されるの？



1 慢性的な人手不足

一般的に、路線バスの運転手は処遇面に課題があり、慢性的な運転手不足の状態にあります。コロナ禍で落ち込んだ乗客数が完全に回復していないことや、燃料費高騰による収益面での打撃も重なり、処遇を改善して運転手を確保する余力のあるバス会社も少なくなっています。

2 時間外勤務の上限規制

規制強化、いわゆる「2024年問題※」により、運転手不足を短期的に解決することが難しいなか、利用者の多い路線であってもダイヤ縮小や路線統合などによる「減便・廃止」が進む可能性が高くなっています。

3 経営構造

路線バスは運行しても収益が出にくく、高速バスや貸切バスの収益で補填する経営構造になっています。しかし、生活を支える路線バスの運行に優先して運転手を充てているため、貸切バスなどに人員を割けず、受注を制限している状況です。路線バスの運行どころか、事業者の経営存続に関わる問題となっています。

乗って残そう！バスの今とこれから

皆さんは日頃、バスや鉄道、タクシーなどの公共交通を利用していますか。公共交通は、幅広い年代の方にとって通学、通勤、買い物などの日々の暮らしに欠かせない移動手段です。「自分は運転できるから、公共交通は必要ない」と思っている方も、お住まいの地域から公共交通がなくなると、自動車を運転できなくなったときや、運転免許を持たない高校生の通学時や高齢者の外出時の移動手段がなくなってしまうかもしれません。今回は、公共交通の中でも市内路線バスを取り巻く環境や課題について紹介します。

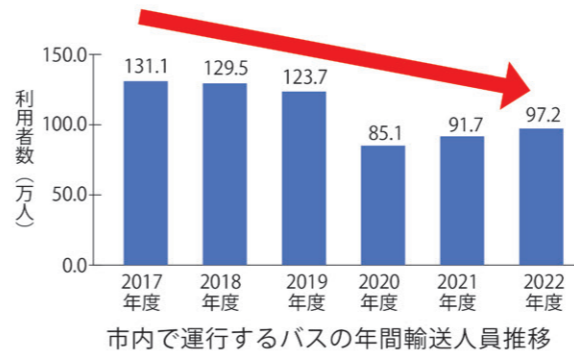
交通政策課 電話 23・5011

公共交通の現状

市内では、公共交通機関として、鉄道3社、バス4社、タクシー9社が運行・営業しています。

車社会の進行や新型コロナウイルスによる移動自粛の影響が残り、公共交通の輸送人員が大きく減少しています。

近年では、運転手不足、「2024年問題※」などの課題を抱え、公共交通を取り巻く環境はさらに厳しさを増しています。



※2024年問題とは

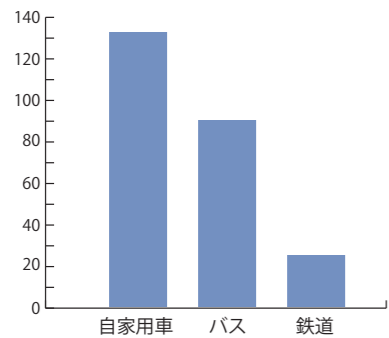
公共交通機関をはじめ運送事業などの労働時間規制と人手不足によって生じるさまざまな課題のことをいいます。働き方改革の一環として労働基準法が改正され、時間外労働の上限規制が強化されました。路線バスの運転手は時間外労働の上限適用が一部特例付きで猶予されてきましたが、この猶予期間が2024年3月に終了するため、2024年問題と呼ばれています。

公共交通の2つのメリット

①環境にやさしい

自家用車と比較して、二酸化炭素の排出量を約30%削減することができます。

輸送量当たりの二酸化炭素の排出量 (g-CO₂/人km)



②渋滞の緩和

写真は、平成20年7月に富山県高岡市JR高岡駅前で行った実験です。バスに乗ることで自家用車約50台分のスペースを削減できました。

自家用車の利用者が減少すると通勤通学時間帯の道路の交通量が減り、渋滞の緩和につながります。



TicketQRで もっと便利にバスに乗ろう！



TicketQRの詳細は
市ホームページから



市では、(有)和晃・(株)TicketQRと連携し、令和2年10月からQRコード決済システムを活用した公共交通のキャッシュレス化を推進しています。現在、市内の路線バス(一部路線除く)、別所線、タクシーで、QRコード決済を利用できます。

TicketQRでできること

- ①小銭いらず・整理券不要で乗車ができます
- ②プリペイド券購入でお得に乗車できます
- ③定期券としても利用できます
- ④バスや別所線がいまどこを走っているか分かります



バスの位置情報が
分かります



通学で路線バスを利用している
久さん姉妹

紙の定期券を持たなくていいからラク！

TicketQRを利用していたので、定期券の紛失を防ぐことができました。バスで通学できるありがたさを実感すると共に、今後もバスなどの公共交通を利用したいと感じています！



…利用者の声…

こんな時、 公共交通を使いませんか？

通勤・通学



飲み会のある日



旅行の時



買い物・通院



公共交通は、移動手段が限られた高齢者や高校生などの生活になくはならないものです。公共交通の存在価値を考え、一人ひとりが「乗って残す」という意識をもち、みんなの力で守っていかなくてはなりません。まずは一度、公共交通に乗ってみることはじめてみませんか。

バス事業者さんにお聞きしました！

バス事業の現状は？

上田バスでは、慢性的に運転手が不足している状況ですが、路線バスを維持するために、貸切バス事業を縮小して事業を継続しています。生活を支える路線バスは、時刻表のとおり運行する必要があります。突発的な理由により運行を中止することはできないため、常に一定数の運転手を確保しています。



上田バス株式会社
舟見 専務取締役

運転手不足解消の取り組みは？

「2024年問題」からくる運転手不足に対応するため求人募集を積極的に行っていますが、充足できていないのが現状です。今後上田市と共同で「バスの運転体験ができる会社説明会」を実施し、実際に大型バスを運転していただくことで、職業選択へのイメージを膨らませていただきたいと思います。



運転手確保に向け、バスの運転を体験できる会社説明会を開催します

「バス運転手に興味がある」「大型二種免許は持っていないでもバスを運転したことがない」という方をはじめ、普通免許をお持ちの方ならどなたでも参加可能な

会社説明会です。詳細は
交通政策課(☎23・5011)
へお問い合わせください。



お客様に感謝され、
地域の公共交通を支える
やりがいのある仕事です！



運賃低減バスを運行しています

市では、平成25年10月から市民生活に不可欠な路線を維持確保・活性化し利用者の負担軽減を図るため、市内を運行する路線バス(14路線)で、運賃低減バスを運行しています。運賃低減バス施策により、本来の運賃から上限を300円または500円に低減しています。ぜひ、路線バスの利用をご検討ください。



低予算で通学できました！

両親による送迎が難しかったため、バス通学を選択しました。運賃低減バスを利用して、低予算で通学することができました！
通学で路線バスを利用している 白井さん



…利用者の声…